

議事要旨	
会議の名称	第1回門真市庁舎エリア整備事業専門家会議
開催日時	令和7年2月20日（木）午前10時00分から午前12時00分まで
開催場所	門真中町ビル3階 33会議室
出席者	（委員）嘉名委員、佐藤委員、橋爪委員 （事務局）まちづくり部 真砂次長、安渡総括参事 庁舎エリア整備課 阿部課長、眞治課長補佐、福壽主任、里係員、 業務委託事業者
議題 （案件）	1 専門家会議について 2 基本計画に向けた取組みについて (1)進捗状況について (2)執務環境調査・チェンジマネジメント支援業務について (3)ワーキングチームについて (4)その他
担当部署 （事務局）	（担当課名）まちづくり部 庁舎エリア整備課 （電話）06-6902-6379（直通）
主な意見	
<p>※開会、座長の選出、資料説明等については省略するとともに、発言内容は一部要約しています。</p> <p>1 専門家会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座長に橋爪委員、座長の職務を代理する委員に嘉名委員を選出。 <p>2 基本計画に向けた取組みについて</p> <p>(1)進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプトについての検討は積み上げ型も必要であるが、大きなコンセプトは周辺のまちづくりも踏まえてブレないように検討を進めてもらいたい。 ・病院が隣接することになるので例えば健康について等、病院との連携を図ってもらいたい。 ・門真の文化や歴史、土地に根差しているものを読み込んだ上でコンセプトにつなげていく、総計では「笑い、笑顔」をキーワードとしているので、みんなが笑顔になるような庁舎エリアになればよい。 ・与条件をかなり整理し直していると理解している。市の部署によっても様々な考え方があると思うので、それを上手く融合させるような解決策を検討していただきたい。 ・門真市はどのようなまちなのか、10年後・20年後に門真市がどのようになっているべきか将来像を意識する必要がある。 ・市民・企業・行政が交わる場となるリビングから公民連携を推進するワークプレイスとなるクリエイティブへという考え方はよいが、前半のストーリーの部分と実際のワークプレイスの 	

ディテールが上手く重なる必要がある。

(2) 執務環境調査・チェンジマネジメント支援業務について

- ・執務室内に打合せ等で自由に使える空間をと説明があったが、それぞれのシーン別でどのように使うのかも含めて整理をした方がよい。
- ・先進事例をより多くワーキングチームで共有してもらい、門真市でもやりたいこと等の整理しながら進めるとよい。
- ・メリハリのある執務環境をぜひ職員の中から引き出してもらいたい。検討を進めると標準的になっていく傾向があるので、ここだけはこだわるといったものを執務環境でも考えてほしい。
- ・業務の特性を踏まえながらにはなるが、在宅等を併用していくとスペースをフレキシブルに使える部分が多くなり、フリーアドレスも含めて色々検討すると自由度が増していく。
- ・色々な事例から議論することも大事だが、体験しないと分からない部分もあるので、トライアルができるプロセスを組み入れるとよりリアリティーに検討できる。
- ・優秀な人材を確保するためにも、職員が働きやすい庁舎とすることは重要である。

(3) ワーキングチームについて

- ・新しいレイアウトについても定型化してくるので、業務内容によって働く場所を選べるような多様なスペース、多様なデスクがあるよい。
- ・オンライン申請等に不慣れな方も快適に市役所で手続きができるように配慮したDXの試みが必要である。
- ・サインについては庁舎内だけではなく、広場や周辺エリアともリレーションができるように考えてもらいたい。
- ・市民との距離感が近く、行政とコミュニケーションがとりやすい庁舎となるように検討を進めてもらいたい。
- ・理想とする将来像に対して課題があるのであれば、それをどのように埋めていくか、何に取り組む必要があるかを検討していくと、よりよい庁舎エリアとなる。
- ・事例視察も積極的に行うべきだが、外部講師からのインプット、意見交換により新たなアイデアや解決策が見いだせることもあるので検討してもらいたい。
- ・子育て世代に門真に住み続けてもらうためにも魅力ある庁舎エリアとなるように上手く計画を進めてもらいたい。
- ・市民活動や地域活動が庁舎エリアで連携しながら活動できるように進めてもらいたい。
- ・庁舎と広場がともに平常時と非常時でそれぞれの使い方が上手くかみ合うようなフェーズフリーな計画となるように検討してもらいたい。
- ・地震や水害等のそれぞれの災害に適応した庁舎エリアの使い方を検討する必要がある。
- ・広場については、暫定的な場所でのプレ活動から上手く繋げていく形が取れるとよい。
- ・市内にはボール遊びを禁止している公園が多い。庁舎エリアではボールを使った遊びや、特定のスポーツができるよう、安全に楽しめることができるかたちでデザインしてもらいたい。
- ・庁舎エリアに整備する防災機能については、市民への周知や学びの場としても活用できるとよい。

以上